



平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 帝国通信工業株式会社
コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理室管掌 (氏名) 小田切 純夫

TEL 044-422-3831

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,614	11.3	709		860		1,581	
23年3月期第3四半期	11,962	2.8	469		756		741	

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,797百万円 (%) 23年3月期第3四半期 934百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	32.45	
23年3月期第3四半期	15.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,579	16,378	82.0
23年3月期	21,835	18,437	82.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,061百万円 23年3月期 18,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		4.50		2.50	7.00
24年3月期		2.50			
24年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の期末配当予想につきましては、未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,500	12.8	1,000		1,100		2,000		41.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	50,709,167 株	23年3月期	50,709,167 株
期末自己株式数	24年3月期3Q	1,949,759 株	23年3月期	2,027,831 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	48,720,736 株	23年3月期3Q	48,636,658 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4 . 補足情報	11
製品別販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、ヨーロッパの金融問題の深刻化や中国経済の減速などに加えてタイ王国で洪水（以下、タイ洪水）が発生し厳しい状況が続きました。日本では東日本大震災からの復興が進んでおりますが、これら世界経済の与える影響と定着した円高が企業の業績回復を遅らせております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、東日本大震災の影響による生産停滞がほぼ解消した矢先に発生したタイ洪水のため、サプライチェーンの寸断による生産停滞や操業停止、商機損失など深刻な事態となりました。

このような状況の中で当社グループは、タイ洪水のため操業を停止した2工場の代替生産を日本、ベトナム、インドネシアの工場で開始し、顧客への供給責任を果たすことと、被災した工場の復旧に全力を挙げてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は106億14百万円（前年同期比11.3%減）となりました。損益面では原価低減や経費削減に継続して努めましたが減収と円高のため7億9百万円の営業損失（前年同期は4億69百万円の営業損失）となり、経常損失は8億60百万円（前年同期は7億56百万円の経常損失）、四半期純損失はタイ洪水による損失を含めて15億81百万円（前年同期は7億41百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

電子部品

東日本大震災による生産停滞と回復、それに続くタイ洪水の影響と、直接的および間接的に大きな変動が続きました。復興需要で急増した暖房機向け、市場が好調なデジタル一眼等のカメラ向けなどの前面操作ブロック（ICB）製品や、新型ゲーム機向け可変抵抗器などが好調で、自動車電装向けも回復しましたが、ビデオカメラ、薄型テレビ、PC関連向けなどが低迷し、厳しい状況でした。

この結果、電子部品の売上高は102億57百万円（前年同期比11.6%減）、営業損失は6億27百万円（前年同期は3億94百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

震災復興需要で急増した暖房機向けが好調で、自動車電装向けも回復しましたが、タイ洪水のためビデオカメラ向けICB製品などの生産供給が大きく落ち込みました。

この結果、売上は53億4百万円となり、営業損失は34百万円となりました。

b. アジア

PC関連機器、音響機器、薄型テレビ向けなど総じて低迷し厳しい状況が続きました。

この結果、売上は46億52百万円となり、営業損失は5億83百万円となりました。

c. 北米

主力市場である薄型テレビ向けが大きく落ち込みました。

この結果、売上は2億99百万円となり、営業損失は13百万円となりました。

その他

機械設備に関しては、日本や中国市場の低迷による設備投資抑制の影響を受け伸び悩みました。

この結果、その他の売上高は3億57百万円（前年同期比2.0%減）、営業損失は90百万円（前年同期は93百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ22億55百万円減少し195億79百万円となりました。その内訳は、流動資産が13億40百万円減少し125億21百万円、固定資産が9億15百万円減少し70億58百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ1億96百万円減少し、32億1百万円となりました。その内訳は、流動負債が1億3百万円減少し26億81百万円、固定負債が93百万円減少し5億19百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ20億59百万円減少し163億78百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の82.7%から82.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨年11月時点では、タイ王国で発生した洪水の影響により、合理的な業績予想の算出が困難であったことから未定としておりましたが、操業停止に伴う売上高の減少や固定費等の発生額を見積もることが可能となったことから、現時点で予測可能な範囲で開示いたします。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び国内連結子会社における製品の評価方法は、従来、主として売価還元法によっておりましたが、新在庫管理システムが完成・本稼働し、製品の受払管理に基づく原価計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な製品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、第1四半期連結会計期間から主として総平均法に変更いたしました。

第1四半期連結会計期間に新在庫管理システムが本稼働したことから、過去の連結会計年度に関する製品の受払記録が一部入手不可能であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を前連結会計年度の期首時点において算定することは実務上不可能であります。そのため、当該会計方針の変更は、総平均法に基づく当第3四半期連結累計期間の期首の製品の帳簿価額と、前連結会計年度の期末における製品の帳簿価額の差額を元に算定した累積的影響額を、当第3四半期連結累計期間の期首残高に反映しております。

なお、当該変更による製品、売上原価及び各段階損益並びに1株当たり情報への影響額は僅少であります。

また、当第3四半期連結累計期間の期首の純資産の帳簿価額に反映された会計方針の変更の累積的影響額も僅少であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,485,198	4,809,068
受取手形及び売掛金	3,884,086	4,246,418
商品及び製品	1,249,363	1,223,809
仕掛品	628,636	734,010
原材料及び貯蔵品	845,338	933,617
その他	778,223	582,427
貸倒引当金	8,984	7,963
流動資産合計	13,861,863	12,521,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,403,323	2,250,730
機械装置及び運搬具(純額)	1,814,453	1,269,160
その他(純額)	820,852	820,983
有形固定資産合計	5,038,628	4,340,874
無形固定資産	195,960	172,667
投資その他の資産		
投資有価証券	1,384,245	1,295,270
その他	1,361,590	1,255,963
貸倒引当金	6,428	6,270
投資その他の資産合計	2,739,408	2,544,963
固定資産合計	7,973,997	7,058,505
資産合計	21,835,861	19,579,893
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,541,183	1,466,168
短期借入金	120,906	136,380
未払法人税等	60,907	47,316
賞与引当金	328,059	227,136
その他	733,787	804,616
流動負債合計	2,784,844	2,681,619
固定負債		
退職給付引当金	245,793	210,227
その他	367,826	309,655
固定負債合計	613,620	519,883
負債合計	3,398,464	3,201,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	11,560,476	9,711,798
自己株式	1,022,705	981,395
株主資本合計	19,447,163	17,639,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,339	99,317
為替換算調整勘定	1,525,155	1,677,315
その他の包括利益累計額合計	1,381,815	1,577,998
新株予約権	11,827	5,451
少数株主持分	360,221	311,143
純資産合計	18,437,397	16,378,391
負債純資産合計	21,835,861	19,579,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,962,287	10,614,755
売上原価	9,149,454	8,390,570
売上総利益	2,812,832	2,224,185
販売費及び一般管理費	3,282,295	2,933,848
営業損失()	469,462	709,663
営業外収益		
受取利息	11,193	12,325
受取配当金	26,757	29,960
受取賃貸料	98,443	105,687
その他	64,059	69,990
営業外収益合計	200,454	217,963
営業外費用		
支払利息	460	560
固定資産賃貸費用	41,105	42,213
為替差損	431,593	295,693
その他	14,141	30,375
営業外費用合計	487,300	368,842
経常損失()	756,309	860,543
特別利益		
固定資産売却益	6,681	7,549
土地売却益	18,936	-
保険解約返戻金	-	31,431
投資有価証券売却益	20,591	-
特別利益合計	46,208	38,981
特別損失		
災害による損失	-	685,743
特別損失合計	-	685,743
税金等調整前四半期純損失()	710,100	1,507,306
法人税等	17,576	60,481
少数株主損益調整前四半期純損失()	727,676	1,567,787
少数株主利益	14,303	13,371
四半期純損失()	741,980	1,581,158

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	727,676	1,567,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,035	46,491
為替換算調整勘定	194,255	183,316
その他の包括利益合計	207,290	229,808
四半期包括利益	934,967	1,797,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,425	1,777,341
少数株主に係る四半期包括利益	13,542	20,254

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	11,597,492	364,794	11,962,287		11,962,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,170	449,433	451,604	(451,604)	
計	11,599,663	814,228	12,413,891	(451,604)	11,962,287
セグメント損失()	394,962	93,838	488,800	19,338	469,462

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,817,121	5,376,108	404,262	11,597,492		11,597,492
地域間の内部売上高 又は振替高	5,438,026	5,492,989		10,931,016	(10,928,845)	2,170
計	11,255,148	10,869,098	404,262	22,528,508	(10,928,845)	11,599,663
地域別利益又は損失 ()	23,781	372,852	22,066	371,137	23,825	394,962

2. セグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	10,257,248	357,507	10,614,755		10,614,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,238	471,337	492,575	(492,575)	
計	10,278,486	828,844	11,107,331	(492,575)	10,614,755
セグメント損失()	627,274	90,649	717,924	8,260	709,663

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,304,489	4,652,951	299,806	10,257,248		10,257,248
地域間の内部売上高 又は振替高	4,345,375	4,852,471		9,197,847	(9,176,608)	21,238
計	9,649,865	9,505,423	299,806	19,455,095	(9,176,608)	10,278,486
地域別損失()	34,323	583,404	13,119	630,847	3,572	627,274

2. セグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

製品別販売実績

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック(千円)	3,994,053	33.4	4,015,665	37.8	100.5
可変抵抗器(千円)	3,365,555	28.1	2,785,596	26.2	82.8
固定抵抗器(千円)	1,396,840	11.7	1,087,387	10.3	77.8
その他(千円)	2,841,042	23.8	2,368,599	22.3	83.4
小計(千円)	11,597,492	97.0	10,257,248	96.6	88.4
その他					
その他(千円)	364,794	3.0	357,507	3.4	98.0
小計(千円)	364,794	3.0	357,507	3.4	98.0
合計(千円)	11,962,287	100.0	10,614,755	100.0	88.7